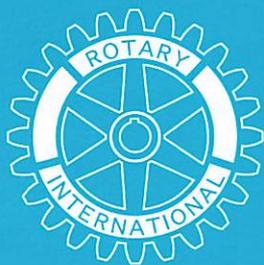


THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY 名古屋 ちくさ

題字 伊藤昌石

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 名古屋東急ホテル
事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
会長 足立 一郎
幹事 河合 隆史
公営イメージ委員会 谷口 優

No.22 奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために
SERVE TO CHANGE LIVES

2021 ~ 2022 年度

RI会長
シェカール・メータ

本日の例会

第 1848 回 2022 年(令和 4 年) 4月5日 (火)
卓話「NPOキャンヘルプタイランド活動報告」
キャンヘルプタイランド 理事 坂 茂樹 様

前回の例会

第 1847 回 2022 年(令和 4 年) 3月29日 (火) 曇
6RC 合同例会
(ホスト: 名古屋名東 RC)
名古屋マリオットアソシアホテル 16F
 Towersボールルーム

進行: 名古屋名東RC 中村会場設営委員長

- ◆点鐘
- ◆国歌「君が代」
- ◆ロータリーソング「奉仕の理想」

◆出席報告

正会員 30(23) 名 出席 13名
出席率 56. 52 %

東RC 濱 洋一 会長挨拶



名古屋東RCの濱でございます。
街を車で走っていると桜の花も咲き始め春を感じる事が出来るようになってまいりました。

この春の陽気につられて新型コロナウィルスもどこかに飛んで行ってくれと嬉しいのですが・・・この2年間で、好きな時に好きな人と

と食事をしたり集まったりする当たり前がいかにありがたかったかがわかりました。

本日は、兄弟の様な6クラブの皆様とリアルにお会いできる事を本当にうれしく思います。

当クラブは1959年に創立されました。

偶然にも私と同じ歳で63歳になります。メンバーの平均年齢も丁度私の年齢ぐらいです。直近の課題は、高齢化とコロナで会員の退会が増え、会員数が激減した事です。私が入会した20数年前は120名近いメンバー

が今では80名になってしまいました。

おかげさまで本年度は9名の新会員に入会いただきましたが、以前の様な華やかさには程遠いのでこれからも会員拡大に精を出したいと思います。

全世界のロータリーメンバーが心より願っている世界平和に向け何が出来るかを考え一歩でも平和に向かって歩めるようメンバーの皆様と話し合いたいと思います。1日でも早く平穏な世界が来ることを心より願っております。

最後に、今回設営いただいた名古屋名東 RC の橋本節生会長はじめメンバーの皆様、大変な時期の設営でご苦労なされたことと存じます。ありがとうございました。

和合RC 相羽 繁生 会長挨拶



皆さんこんにちは。名古屋和合ロータリークラブの相羽でございます。

本日は橋本会長を始め、名古屋名東ロータリークラブの皆様には合同例会を開催して頂きましてありがとうございます。御礼申し上げます。

先週まん延防止等重点措置が解除されましたので、皆様も少しほっとされているところと思います。早く飲み薬が薬局で手に入るようになってほしいと願っております。

お陰様で名古屋和合ロータリークラブは今年50周年を迎えることが出来ました。今はその準備に邁進している最中です。4月27日に八神純子さんの記念コンサート、そして6月15日に記念式典と、年度末に向け記念行事を開催して参りますので、ご支援を宜しくお願い申し上げます。特に、25周年を迎えられている名古屋東山ロータリークラブさんにも共催して頂いています4月27日のコンサートは、コロナ禍の中、チケット販売の面で大変苦戦しております。このコンサートは八神純子さんのご協力を頂き、2026年に開催されるアジア大会を盛り上げる企画でございます。

皆様の暖かい友情を宜しくお願い申し上げます。以上で挨拶に代えさせていただきます。

千種RC 足立 一郎 会長挨拶



皆さんこんにちは。名古屋千種ロータリークラブの足立でございます。本日は、大変なコロナ禍の中、6RC合同例会を設営いただきました名古屋名東ロータリークラブの橋本会長をはじめ、ご担当の皆様には心より感謝申し上げます。

今年度の当クラブの奉仕活動は、国際奉仕活動として、今日まで25年継続してきた「NPOキャンヘルブランド」を通じてのタイの学生に奨学金および教育資材の提供を継続しております。

社会奉仕活動は、地域への貢献として、足掛け8年に渡る東山植物園に対するパラグアイオニバス種子の寄贈および育成支援を行っております。また、新たな活動として、地域の小学校の児童たちと一緒に花苗の植え付け作業や子ども食堂運営団体への食材および運営費の寄付をスタートし、千種区・昭和区の子ども支援にも力を入れ始めています。

名古屋千種ロータリークラブは、名古屋東ロータリークラブをスポンサークラブとして、1982年に創立されたクラブです。次年度はクラブ創立40周年を迎え、10月に記念式典・講演を予定いたしております。

また、2023（令和5）年2月には、I.M.のホストクラブを務めさせていただきます。

各実行委員会を立ち上げ、準備をしているところでございます。

最後に、今後も新型コロナウイルスの影響で活動などが制限されるような事態も、まだまだ不透明ではありますが、残り3か月余り、withコロナで活動を進めてまいりたいと思います。

以上で会長の挨拶とさせていただきます。有難うございました。

昭和RC 小坂 達也 会長挨拶



皆さんこんにちは。昭和ロータリークラブの小坂でございます。

まず、6ロータリークラブ合同例会を設営いただきました名東ロータリークラブの橋本会長はじめ、クラブの皆様方には誠にありがとうございます。感謝申し上げます。

今年の昭和ロータリークラブは、会員数49名、休会者6名でスタートし、後半は休会者が7名となり実質42名で残りの期間を終えようとしております。このコロナ禍の中、会員増強に対しても何もするすべもなく、あっという間に月日が経ってしまいました。しかしながら、このオミクロン株の後に何も出て来なければ終息していくと思われ、やっと春が来る予感がいたします。

話は変わりますが、昨日春の選抜高校野球で大阪桐蔭と和歌山の試合を途中6回から見えてまして、6回までに大阪桐蔭が6対0でリードしていて、最終的には17対0になりました。最初は大阪桐蔭の打撃の凄さばかり見ていましたが、途中から和歌山の選手のどんなに打たれても必死になってプレーする姿を見ていますと、今まで

会長としてあと3ヶ月しかないと思う気持ちから、まだ3ヶ月もあるので何でも出来るのではないかと思えるようになってきました。

昭和ロータリークラブとして再度、仕切り直しをして楽しいロータリーづくりを目標に取り組んでいきたいと思っております。特に5月には、創立30周年を迎えます。コロナ禍の為中止になるかもしれないと思いながら準備を進めてまいりましたが、今はもう絶対に大丈夫だと思っております。すばらしい30周年を迎える為に、皆様にもご協力願う事が多々あると思っておりますので、その節は宜しくお願い申し上げます。

東山RC 小林 三重子 会長挨拶



私ども名古屋東山ロータリークラブはおかげさまで今年度、創立25周年を迎えました。

創立5周年の際に愛知池に当時の会員数66本の桜を植樹いたしました。

そこで、今年度は、その桜並木の、下草刈りや手作業での害虫駆除

を行ってくださっている「愛知池友の会」という奉仕団体へ環境整備に必要な耕運機やイベント開催に利用されるテントなどの備品を寄贈しました。

愛知池友の会さんの奉仕活動の一つに、渡り蝶であるアサギマダラという蝶々の飛来地づくりがあります。日本列島を南北に行き来する蝶なのですが、その蝶が好むフジバカマのお花畑を作り、日進市など近隣の方々を招いての観察会、マーキングなどを行っていらっしゃいます。昨年の10月、アサギマダラ蝶が飛び交うなか、贈呈式を行いました。その後は、周辺のゴミ拾いをしながら歩くエコウォーキングも行い、それらの様子は、中経新聞さんはもちろん地方版ではありますが中日新聞、ケーブルテレビの取材を受けることができ、少しはロータリークラブの公共イメージ向上に役立ったのではと期待しております。

さて、25周年の事業としましては、親クラブである和合RCとの共同事業「One Asia One Rotary」キックオフコンサートがございます。これは単なるコンサートではなく、2026年9月に開催されるアジア大会に向けた2760地区からの発信です。

当RCも、これまでにフィリピンやラオス、ベトナムへの支援活動を行ってまいりましたし、アジアからの米山奨学生の受け入れも続けております。もちろん皆さまのクラブでも多彩な交流をされていることと思います。

各クラブがそれぞれに行っていることを、アジア全体として俯瞰してみる機会ができればもっと素晴らしいと思いませんか。そしてこの2760地区を中心に、アジアのロータリークラブが一堂に会する機会を持つことができるなんてワクワクしませんか。

どうぞ一人でも多くの皆さまに関心をもっていただき、One Asia One Rotary のキックオフコンサートにご参加いただければと存じます。

名東RC 橋本 節生 会長挨拶



本日はお越しくださしましてありがとうございます。
和合クラブ創立50周年、昭和クラブ創立30周年、東山クラブ創立25周年、おめでとうございます。心からお慶び申し上げます。

桜の花も満開が近づいてまいりました。私の朝の散歩コースであり

ます山崎川の桜も来週が満開ということらしく、昨日も六分ぐらいは咲いていました。桜は開花のみならず、散って桜吹雪が舞う「雅」な様にも風情があります。散りゆく儂さや潔さも美しく、古くから桜は諸行無常といった感覚にたとえられており、日本人の精神性を象徴する花だと言われております。まん延防止重点措置は解除されましたが、まだまだ新型コロナウィルスの感染者数は多く、今年も桜の下で花見をしながらお酒を飲むことができないのは寂しい限りです。

名東クラブは1月にまん延防止重点措置が発令されてから約2か月間休会しておりました。先週の木曜日に東山クラブさんとの合同夜間例会が再開後初の例会になりましたが、久しぶりにロータリアンの皆様にお会いすることができ大変嬉しく思いました。

本日も多くの方にお越しいただきましたが、やはりロータリークラブの例会はリアルタイムが一番ですね。来週には藤岡カントリークラブにて6RC合同ゴルフコンペが開催されます。青空の下で皆様とゴルフを楽しみながら、より一層親睦を深めていきたいと思っております。

次期ホストクラブ挨拶

千種RC 林 永芳 次年度会長



6RCの皆さま、こんにちは。名古屋千種ロータリークラブ次年度会長の林と申します。

2022-23年度の6RC合同例会は、2023年4月4日(火)名古屋東急ホテルでの開催を予定いたしております。

本日のように6RCの皆さまの親睦がより深まりますよう、素晴らしい例会ができるよう会員一同準備いたしまして、皆様のご参加をお待ちいたしております。よろしくお願い申し上げます。

乾杯

東名古屋分区分区ガバナー補佐 梶川 久雄 様



ガバナー補佐訪問の折には大変お世話になりました。2月の植樹事業も無事終わりました。誠にありがとうございます。

また、来月にはワールドフード+ふれ愛フェスタがございます。分区分区ブースへのご協力もよろしくお願い

いたします。

そして、今期は、和合RCさんの50周年、昭和RCさんの30周年、東山RCさんの25周年ということで、おめで

とうございます。

それでは、ワールドフード+ふれ愛フェスタの成功を祈念いたしまして、乾杯！



Rotary



奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

ニコボックス

重見 有美

会員誕生日お祝い

足立 一郎

朝倉 寿宜 林 永芳

河合 隆史

小山 雅弘 松岡多加倫

大谷 恩

笹野 義春

本日6RC 合同例会ホスト名東 RC さんよろしくお願
いいたします。次年度は当クラブホストでの開催です

9件 合計 37,000円



2022年4月より米山奨学生 文都日娜さんの
世話クラブに委嘱されました。1年間よろしくお願いいた
します。

2022 学年度米山記念奨学生

文都日娜 (ウンドリナ)さん

WENDURINA



生年月日 1981年8月27日

国籍 中国

出生地 内モンゴル自治区

在籍校 名古屋大学

博士課程 2年

人文学専攻

研究テーマ /

日本語の「ナル表現」とモンゴル

語の「ナル表現」の対象研究

カウンセラー 長谷川 亨君

〈奨学期間 2022年4月1日~2024年3月31日〉

▶ ウクライナ危機へのロータリーの対応

ロータリーのネットワークがウクライナ難民に迅速な人道支援

難民に食糧、水、医療、シェルターを提供するため、欧州や世界各地のロータリークラブとローターアクトクラブが、周辺地域の会員とともに迅速に支援活動に乗り出しています。

以下に、4月1日時点での最新のプロジェクトをいくつかご紹介します。

・第2231地区(ポーランド)のクラブは、50,000ドルの災害救援補助金を活用して、ウクライナから逃れてきた難民に移動手段、宿泊場所、食料、医療援助を提供しています。

・第2240地区(チェコ共和国)は、被災者のために寝袋、医薬品、食料、除細動器、心電図装置、酸素濃縮器など5万ドル相当の物資を購入しました。

・ドイツの地区ガバナーは、会員による取り組みやオンラインでの支援活動の調整にあたる全国規模のタスクフォースを設置しました。政府機関や非政府組織との窓口となるタスクフォースの事務局は、ベルリンに設置されています。

・フランス全土のロータリークラブが力を結集して、難民のための必要物資の収集と配布にあたっています。国内のクラブから寄せられた寄付と物資は、地区ガバナーが取りまとめ、ウクライナのロータリークラブの支援のほか、ポーランドとルーマニア経由でやってきた難民の支援や、これらの国にいる難民のフランス移送などに役立っています。ニーズの特定は、フランスがかかわる複数の国際共同委員会が行っています。

・第1910地区(オーストリア)は、25,000ドルの災害救援補助金を活用して、オーストリアに逃れてきたウクライナ難民のために、宿泊場所、ベビー用品、医薬品、衛生用品、心のケア、食料、電化製品などを提供しています。

欧州のローターアクト

欧州全域のローターアクトのための多地区合同情報組織「欧州ローターアクト情報センター(European Rotaract Information Centre)」は、難民とボランティアのための情報をまとめたサイト「United for Peace」(平和のための団結)を開設しました。

このサイトには、難民が利用できる無料の鉄道、バス、航空機に関する情報に加え、必要とされている支援や物資、各国地域での支援方法のリストが掲載されています。

サイトにはそのほかに、ウクライナ西部の都市リヴィウの病院や、各地で支援を行っているクラブ、地域の他団体のための募金の詳細も掲載されています。

サイトは、国境で行き場をなくしている難民のための避難所をローターアクトが手配するのにも役立っています。難民の宿泊のために自宅を提供できるボランティアは、オンラインフォームから登録し、宿泊できる人数と期間を指定できます。当初、このサイトはウクライナを逃れるロータリー会員を援助するための取り組みとして開設されましたが、現在は、援助を申し出る欧州全土のロータリー会員によって利用されています。

必要とされている物資と寄贈物資をつなげる役目を果たしているこのサイトは、緊急のニーズを満たす方法について、10カ国、60人のチームがビデオ会議で協議してから48時間以内に立ち上げられました。

・ウクライナ

ウクライナには62のロータリークラブと6の衛星クラブがあり、その会員数は約1,100人です。また24のローターアクトクラブがあり、その会員数は300人以上です。

第2232地区(ウクライナとベラルーシ)は、この危機の影響を受けた人びとを支援するための委員会を結成しました。委員会は、生活必需品を確保するための募金に乗り出し、世界中のロータリー会員に支援を呼びかけています。

リヴィウ市には、ウクライナの他の都市からの避難民が流入しています。リヴィウ・インターナショナル・ロータリークラブは、地方自治体や主要病院と協力して、避難民がアクセスできる救援物資のオンラインリストを作成しました。寄贈物資を病院に届け、現地の倉庫で保管するための手配は、会員たちが行っています。

・ポーランド

ポーランドは100万人以上の難民を受け入れており、国内のロータリークラブが寄付の窓口となる口座を開設しました。

オルシュティン・ロータリークラブは、地元市民センターに設置された難民キャンプに滞在する150人以上のウクライナ人のために寄付を集めました。難民の多くは、ウクライナにいる親元を離れてやってきた身寄りのない子どもたちです。センターが難民の受け入れを開始してから数時間以内に、食料、衣類、洗面用品、おもちゃなどの物資をいっぱい積んだ4台の車が寄贈されました。

ザモシチ・ロータリークラブは、医療用品の流通会社を運営するボルシュティン・ロータリークラブの会員と協力して、物資や医療用品を集めるために他団体との連携を手配しました。

グダニスク・セントラム・ロータリークラブは、難民である4家庭に宿泊施設を提供し、会社経営者である会員たちがこれらの家族に仕事を提供しています。

・ウクライナと国境を接するそのほかの国

ハンガリーのキシュバールダ・ロータリークラブは、募金を取りまとめ、会員総動員で生活必需品を寄贈し、難民たちに届けています。

ルーマニアとモルドバのロータリー会員は、寄付の窓口となる基金を設置し、食糧の寄贈や難民の宿泊手配を行うためのWhatsAppグループを立ち上げました。

スロバキアとチェコ共和国では、クラブが鉄道・貨物会社と提携し、約2,300人の難民の移動手段を提供しています。

執筆協力: Kim Widlicki, Claudia Brunner

ロータリー会員による人道的支援の最新情報は、Twitter(英語)/Twitter(日本語)、Facebook(英語)/Facebook(日本語)、インスタグラム、LinkedInをフォローしてご覧ください。

また、Rotary.orgとMy ROTARYにも随時、最新情報が掲載されます。